

下田市・南伊豆町・松崎町・西伊豆町

南伊豆地域広域ごみ処理基本構想について

2022.7.28 生活環境影響調査に係る住民説明会

○ 1市3町の施設状況

共通の課題

- ・施設の老朽化、稼働率の低下
- ・単独で維持管理することが困難

※ 4施設を集約

広域ごみ処理施設
(候補地)
処理能力 58 t / 日

設置主体	施設名	処理能力	稼働開始
西伊豆町	西伊豆町クリーンセンター	45 t / 日	H10.4 (1998)

※24年経過

設置主体	施設名	処理能力	稼働開始
松崎町	クリーンピア松崎	16 t / 日	H11.9 (1999)

※22年経過

設置主体	施設名	処理能力	稼働開始
南伊豆町	南伊豆町清掃センター	15 t / 日	H3.3 (1991)

※31年経過

設置主体	施設名	処理能力	稼働開始
下田市	下田市営じん芥処理場 (下田市清掃センター)	56 t / 日	S57.4 (1982)

※40年経過



エコクリーンセンター東河
(東伊豆町・河津町)
処理能力 60 t / 日

広域化の基本理念・基本方針

基本理念

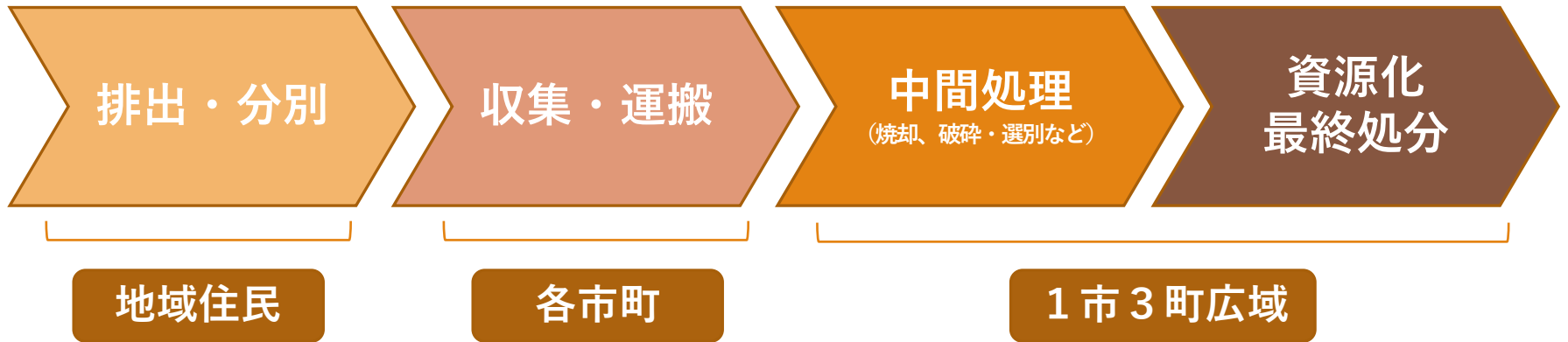
循環型社会の形成、ごみの適正処理に基づいた
南伊豆地域全体における持続可能な地域社会の構築

- ▶ まずは「ごみにしない」ように3Rを行う
ごみとして処理せざるを得ないものは、適正に処理し、可能な限り資源化を行う

基本方針

- ① 1市3町共同のごみ処理事業の実施
- ② 地域住民・事業者・行政の共同による循環型社会の構築
- ③ 経済的・効率的、安心・安全なごみ処理事業の実施

ごみ処理の過程（役割分担）



広域処理に伴う調整

- 排出区分の統一化
- 効率的な収集運搬体制の構築

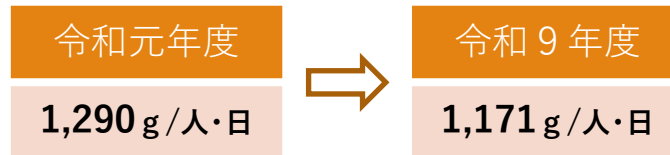
施設の集約化

- 効率的で安全な処理の実現
- 環境負荷の低減（CO₂排出量）

○南伊豆地域の状況

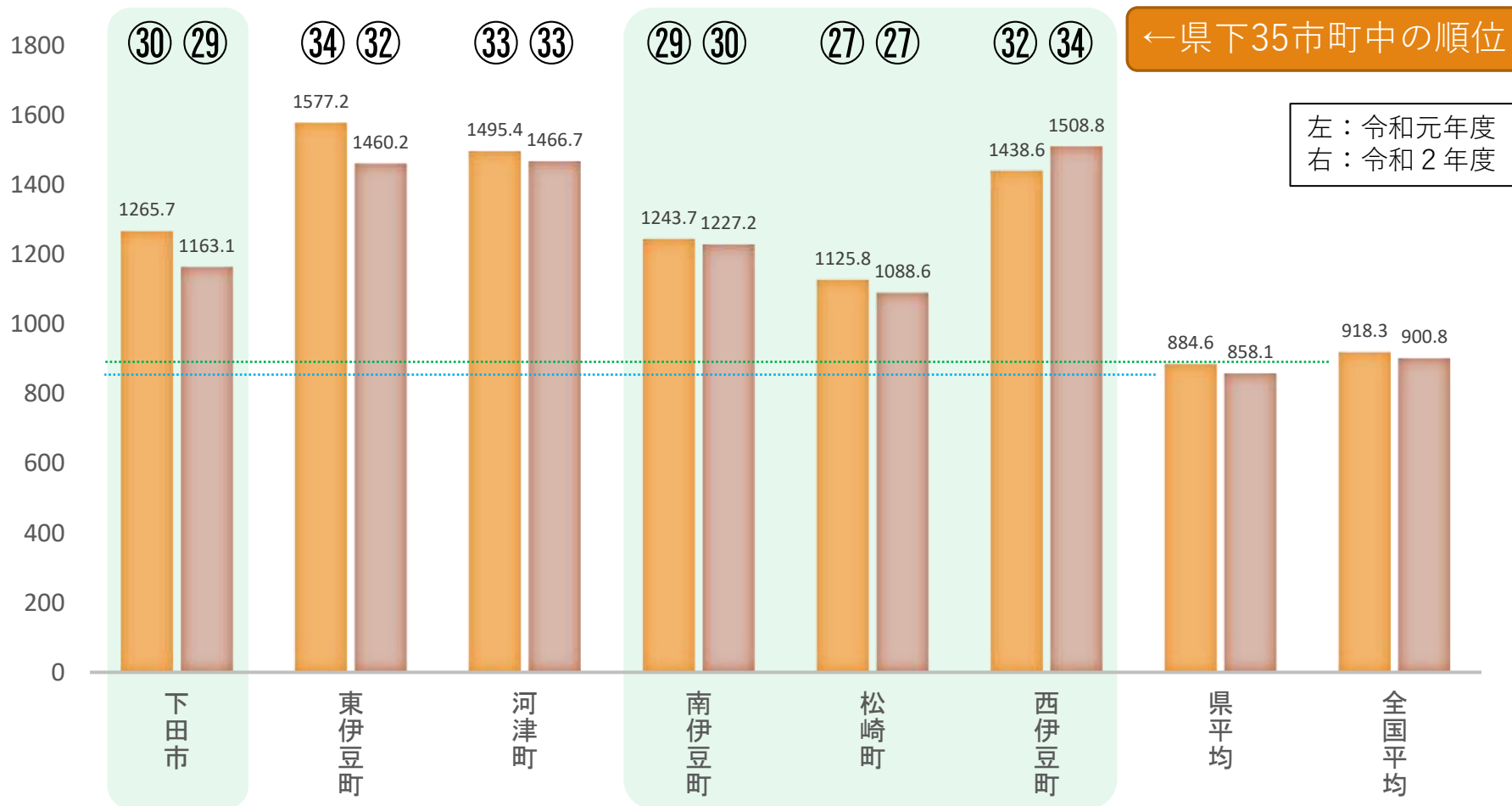
① 1人1日当たりのごみ排出量

1市3町全体の実績及び目標値



一般廃棄物処理事業実態調査より

(単位：g/人・日)



1市3町全体の実績及び目標値

令和元年度

14.9%



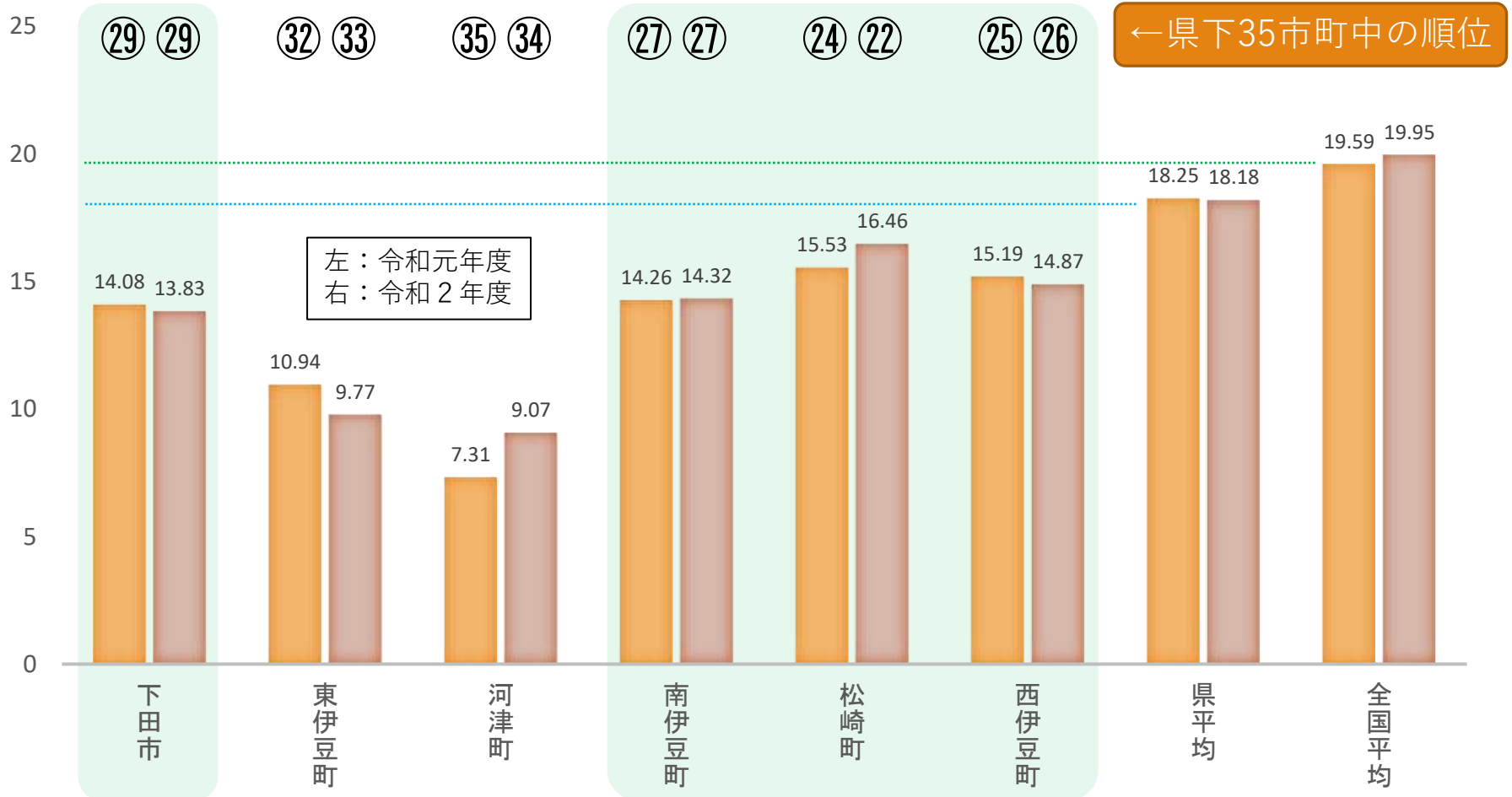
令和11年度

20.0%

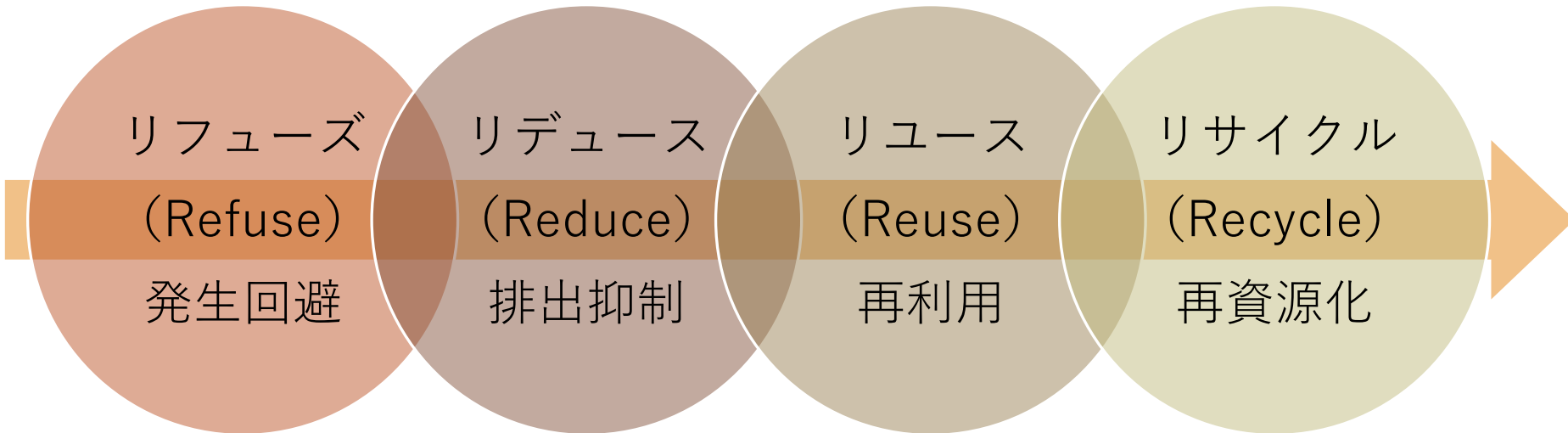
②リサイクル率

一般廃棄物処理事業実態調査より

(単位：%)



4 R の取組



←----- 3 R -----→

ごみの発生源となるものを減らす

(例) 無駄なものは買わない、レジ袋や過剰包装は断る

持続可能な地域社会に向けて

広域ごみ処理基本構想（方向性）

→ 1市3町は、ごみの減量化・資源化の推進に積極的に取り組むことで合意

今後、広域処理に向けた過程で検討・調整（・導入）していくもの

- ・排出区分（ルール）の統一化
- ・分別対象品目の拡大や細分化
- ・効率的な収集運搬体制の構築
- ・プラスチック資源循環法への対応 など

地域住民・事業者・行政が協力し、持続可能な地域社会を実現させましょう



下田市（環境対策課） 南伊豆町（生活環境課）
松崎町（生活環境課） 西伊豆町（環境課）